

令和5年12月 市議会議員選挙から 定数20人を18人へ

南九州市議会議員定数等調査特別委員会決定

南九州市議会 議員定数等 調査特別委員会

令和5年12月に議員の任期満了を迎えるに当たり、議員定数について、議会基本条例第17条第2項の規定により、市政の現状及び課題並びに将来の予測及び展望を十分に考慮するために、令和4年第2回定例会において南九州市議会議員定数等調査特別委員会を設置し、これまで委員会を7回開催し、慎重に調査を重ねてきたところであり、県内各市の議員定数、報酬、政務活動費の状況、及び本年8月に実施した市民への南九州市議会に関するアンケートなどを参考に本市にふさわしい議員の定数などについて検討しました。

委員会での意見

議員定数

20人

・合併して広域の市となったため、市民の多様な声を反映させるためには、定員を減らすべきではない

・女性、子育て中の方が議員になって欲しい。

18人

・市の人口減少等を勘案すると2人減の18人であり。

・市民アンケートの結果からしても18人であり。

16人、14人

・将来的に議員数は減っていくと考える。庁舎が建設される現段階で4人減の16人であり。

議員報酬

・現在の議員報酬額は年金や福利厚生を考えると少ないと考えるため、上げるべきだ。

協議結果

議員定数

20人

2人減

18人

議員報酬

28万6000円

現状維持

28万6000円

政務活動費

運用及び支給額等について継続して調査する。

南九州市議会に 関するアンケート

調査目的

議員のなり手不足、議員定数、議員報酬、政務活動費について研究の参考とするため、市民の考えを把握する。

調査対象者

令和4年7月21日における市内在住者の各世代（18歳から29歳、30代、40代、50代、60代、70代、80歳以上）から1500人無作為に抽出。

調査期間

令和4年8月

アンケート結果の 詳細はこちら

